

平成 29 年度社会福祉法人修倫会事業報告

I 事業の概要

平成 29 年度事業計画に基づき、経営事業である「松柏園」(就労継続支援 B 型事業)、「みずき園」(就労継続支援 B 型事業及び共同生活援助事業)、「あすリード本舗」(就労移行支援事業及び就労継続支援 A 型事業)、「チャレンジドセンター久慈」(障害者就業・生活支援センター事業及び相談支援事業、放課後等デイサービス事業)の 4 事業所が相互に連携・協同し、利用者サービスの充実と地域福祉の向上に努めた。

松柏園 B 型事業は、新規利用者の受け入れにより利用者数が増加するとともに利用率の向上が見られ、施設利用状況は高い利用率で安定したまま推移した。利用者増に対応した作業の確保と営業努力により、平均工賃は目標額と前年度実績を上回った。

みずき園 B 型事業は、他の日中サービスを併用している利用者と疾病等の理由による長期未利用者が一定数おり、利用率、平均利用者数ともに前年を下回った。就労支援事業においては、主力商品であるサブレ、クッキーのパッケージをリニューアルし新商品として売り出すとともに、販路の開拓に努めた。

グループホームは定員を充足することはなかったが、安定した利用状況であった。また、長期休みの際、家族のもとに帰省が難しい利用者の割合が増えてきており、充実した休日を過ごせるよう支援内容を工夫して対応した。

あすリード本舗 A 型事業は、就職や疾病等の理由による利用者の減少や最低賃金の上昇など厳しい経営環境の中、就労支援事業収益の確保に努め、前年度並みの売り上げとなった。しかし、就労支援事業収支は依然として大幅な赤字を抱えており、非常に厳しい状況である。一方、今年度から A 型事業指定基準が見直され、利用者に支払う賃金は就労支援事業収支の利益でまかなうことが求められ、経営改善計画を作成し県に提出した。この見直しに伴い、就労支援事業収支の赤字拡大を防ぐため、新規利用者の受け入れを見合わせなければならず、給付費収入が大幅に減少した。

就労移行支援事業においては、利用者 3 名中 2 名が一般就労に移行した。また、就労継続支援 B 型利用希望者に対する就労アセスメントを実施し、久慈地域で唯一の就労移行支援事業所として、地域の要請に応えた。

チャレンジドセンター久慈は、放課後等デイサービス事業の休止による人員配置の見直しに伴い、経営状況が大幅に改善された。放課後等デイサービスの地域ニーズは認めるものの、チャレンジドセンター久慈の経営健全化のためには現在の事業形態を維持することが必要であると判断し、今年度末をもって放課後等デイサービス事業を事業廃止とした。

今年度の重点項目として掲げた、あすリード本舗経営健全化の再検討であるが、A 型事業指定基準の見直しや就労移行支援事業利用希望者の減少など、事業の継続性に見通しが立たない状況である。そのため、就労継続支援 A 型(雇用型)から就労継続支援 B 型(非雇用型)への事業種別の変更と就労移行支援事業の廃止を軸とした「あすリード本舗事業変更計画」を 11 月に策定し、平成 30 年 10 月の実施へ向け準備を開始した。1 月に利用者及び家族を対象とした説明会を開催し、2 月には個別の意向調査を行うとともに、一般就労を希望する利用者への就職準備支援を障害者就業・生活支援センターと共同で実施した。

II 法人の運営

社会福祉法等の一部を改正する法律が平成 29 年 4 月 1 日完全施行され、社会福祉法人制度について経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務等の改革が行われた。

今年度は新たな制度に基づき、評議員会、理事会の開催及び監事監査、会計顧問による月次会計監査を実施し、適正な法人運営に努めた。

1. 評議員会の開催状況

回	開催日	内容
定 時	6 月 19 日	平成 28 年度事業報告について（報告） 平成 28 年度決算について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会理事の選任について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会監事の選任について 役員報酬規程の制定について

2. 理事会の開催状況

回	開催日	内容
第 1 回	4 月 1 日	理事長の選定について 専務理事の選定について
第 2 回	5 月 31 日	就労継続支援 A 型の基準条例等の改正及びこれに伴う指定基準の見直し等について（報告） 経理規程細則別添 1「共通経費の配分基準表」の一部変更について（報告） 経理規程の一部変更について 平成 28 年度事業報告について 平成 28 年度決算について 平成 29 年度定時評議員会の招集について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会理事候補者の推薦について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会監事候補者の推薦について 役員報酬規程制定の提案について 給与規程の一部変更について あすリード本舗運営規程の一部変更について あすリード本舗従業員就業規則の一部変更について みずき園施設外就労規則の制定について 定款細則の一部変更について 平成 29 年度第 1 次補正予算について
第 3 回	6 月 19 日	任期満了に伴う社会福祉法人修倫会理事長の選定について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会専務理事の選定について 社会福祉法人修倫会顧問の委嘱に関し同意を求めることについて
第 4 回	8 月 10 日	虐待事案の発生と対応について（報告）
第 5 回	9 月 19 日	事故報告について（報告） 育児・介護休業規程の一部変更について 苦情解決規程の一部変更について

		指定就労継続支援A型事業所経営改善計画について
第6回	11月22日	理事長等職務執行状況の報告について（報告） 平成29年度第2次補正予算について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会第三者委員の選任について あすリード本舗事業変更計画の策定について
第7回	1月17日	平成29年度障害福祉サービス事業者等の実地指導の実施結果について（報告） あすリード本舗事業変更計画の進捗状況について（報告） 平成30年度障害福祉サービス報酬改定の基本的な方向性について（報告）
第8回	2月27日	あすリード本舗事業変更計画の進捗状況について（報告） 平成30年度障害福祉サービス報酬改定の概要について（報告） 放課後等デイサービス事業の廃止について あすリード本舗事業変更計画の一部変更について
第9回	3月27日	理事長等職務執行状況の報告について（報告） 平成29年度第3次補正予算について 経理規程の一部変更について 給与規程の一部変更について 有期契約職員就業規則の一部変更について 放課後等デイサービス事業運営規程の廃止について 平成30年度事業計画について 平成30年度予算について 平成30年度第1回臨時評議員会の招集について

3. 監事監査

監査等	開催日	内容
決算監査 出納調査	5月25日	平成28年度事業報告及び会計監査 1月～3月までの会計執行状況
出納調査	8月29日	4月～6月までの会計執行状況
	11月15日	7月～9月までの会計執行状況
	2月19日	10月～12月までの会計執行状況

4. 会計顧問による月次会計監査

会計顧問「税理士法人つばさ会計」による月次監査を毎月実施し、1か月毎の会計・経理を明らかにし現況を把握した。

委嘱契約の内容 （1）会計顧問 （2）決算監査 （3）税務顧問

5. 福祉サービスに係る苦情解決事業

（1）苦情解決体制

各施設ごとに苦情受付窓口を設置し利用について広報と啓発に努めた。又、法人行事である交流会や施設行事に第三者委員が参加し情報交換の場を設けた。

（2）苦情受付

苦情解決規程に基づく苦情受付はありません。

6. 虐待防止の取り組み

(1) 虐待防止対応体制

虐待防止対応責任者、虐待防止受付担当者、第三者委員を配置し、利用者に対する虐待防止を図るとともに、利用者の人権を保護し、健全な支援の提供に努めた。

(2) 虐待通報受付

虐待防止対応規程に基づく虐待通報受付の状況は次のとおりです。

施設名	虐待通報受付件数					対応状況（再掲）	
	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	ネグレクト他	計	解決	継続中その他
松柏園							
みずき園							
あすリード本舗センター		1			1	1	
計		1			1	1	

(3) 虐待防止委員会

法人内に各事業所の責任者、担当者で構成する「虐待防止委員会」を設置し、虐待の防止と適正な支援の実施に向けた取り組みを行った。

今年度は5回開催し、職員倫理綱領の周知や職員チェックリストの活用、勉強会の実施、職員研修の企画・運営、虐待事案の検証を行った。

7. 地域における公益的な取組

「上長内地区ふれあいサロン（ほのぼの給食会）」の実施

久慈市社会福祉協議会との共催により、上長内地区の高齢者を対象に、日帰りでの健康チェック・給食サービス・送迎サービスを提供し、健康の保持増進と生きがいの高揚の一助とするとともに、施設を開放して地域の方々との交流を促進した。

実施施設 松柏園、みずき園

実施回数 年間11回（各月1回、2施設で交互に実施）

参加延人数 47名（高齢者会員16名、ボランティア31名）

8. 情報公開

(1) ホームページへの掲載

法人ホームページを開設し、社会福祉法人に公表が義務付けられている事項及び積極的な公表事項について公開した。

○社会福祉法に基づく公表事項

定款の内容、報酬等の支給の基準、計算書類、役員等名簿、事業の概要

○積極的な公表事項

事業報告書、計算書類の付属明細書、財産目録、社会福祉充実残額算定シート、監査報告書

(2) 法人機関紙の発行

法人機関紙を年1回発行し、関係機関への配布や事業所内での掲示を通じて活動状況と決算資料を公開した。

9. 研修の状況

(1) 役員、管理者等研修

期 日	研修名	場 所	参加者
7月12日	育児・介護休業法等の改正説明会	岩手県高校教育会館	園長 田代 順
7月27日	平成29年度社会福祉法人制度改革フォローアップセミナー（前期）	ホテル東日本盛岡	理事長 間 健倫 専務理事 田代 順
10月10日	福祉サービス苦情解決情報交換会（応用研修）	いわて県民情報交流センター アイーナ	園長 田代 順 所長 鈴木 潔
2月9日	社会福祉法人制度改革対応研修会	マリオス	総務課長 堀越厚子
2月20日	平成29年度第2回あんしんサポート相談員養成研修	ホテルニューカーリーナ	所長 鈴木 潔

(2) 法人職員研修会の開催（年2回）

期 日	研修名・内容	場 所	参加者
8月26日	平成29年度第1回職員研修会 ・講義「職員倫理綱領及び職員行動規範」 ・講義「利用者と職員の距離、関係性」 ・講義「障がい者虐待の防止」	久慈市民体育館会議室	全事業所 職員45名
1月20日	平成29年度第2回職員研修会 ・講演「職場のメンタルヘルス」 ・パネルトーク「障がい者の支援について」	久慈市総合福祉センター	全事業所 職員48名

(3) 各施設の職員研修

施 設 名	内部研修の 実施回数	外部研修	
		参加回数	参加延人数
松柏園	0	10	20
みずき園	3	14	29
あすリード本舗	1	2	2
チャレンジドセンター久慈	13	27	49
合 計	17	53	100

10. 役員等の状況（平成30年3月31日現在）

【評議員（7名）】

田表 一夫 日沢マサ子 田中 泰郎 瀧 重吉
村田 幸江 松野下富則 七十刈清明

【評議員選任・解任委員（外部委員2名、監事2名、事務局員1名）】

外部委員 関 英紀 外部委員 岩崎 壽吉
監 事 佐々木信蔵 監 事 勝田 好正 事務局員 古館 哲雄

【理事（6名）、監事（2名）、顧問（1名）】

理事長 間 健倫 専務理事 田代 順 理事 中野 信男
理事 大崎 恵作 理事 間 加壽子 理事 高屋敷真喜子
監事 佐々木信蔵 監事 勝田 好正 顧問 河野 貫治

【第三者委員（2名）】

神田 秀子（元評議員） 神田 光子（民生児童委員）

1 1. 職員配置（平成 30 年 3 月 31 日現在）

施設名	職員数 (兼務再掲)	内 訳		
		常用職員 (兼務再掲)	有期契約職員 フルタイム	有期契約職員 パートタイム
松柏園	1 4 (1)	1 2 (1)	1	1
みずき園	2 2 (2)	1 0 (2)	6	6
あすリード本舗	9	8	1	0
チャレンジドセンター久慈	7 (1)	6 (1)	1	0
合 計	5 0	3 4	9	7

Ⅲ 事業内容

各施設、事業所の内容は別紙報告書のとおりである。

- ・平成 29 年度松柏園事業報告
- ・平成 29 年度みずき園事業報告
- ・平成 29 年度みずき園共同生活援助事業報告
- ・平成 29 年度あすリード本舗事業報告
- ・平成 29 年度チャレンジドセンター久慈事業報告

Ⅳ 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

平成29年度 松柏園事業報告書

1 総括

松柏園運営規程に基づき、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な指定就労継続支援B型サービスを実施した。

施設の利用状況は、高齢による退所者が2名あったものの、年度当初新規利用者が5名おり、全般的に安定した利用となり、平均利用者数及び利用率ともに前年を大幅に上回った。

就労支援事業においては、年間売り上げは前年を下回ったが、全体的に経費節減や営業努力を続け、利益確保に努めた。結果として平均工賃月額が29,957円となり目標額を大きく上回ることが出来た。

2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定員 40名
- (4) 主たる対象者 身体障害者、知的障害者
- (5) 就労支援種目 クリーニング、縫製、シルクスクリーン印刷
- (6) 職員の配置状況 (平成30年3月31日現在)

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算
		専従	兼務	専従	兼務	
園長 (管理者)	1		1			1
副園長	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
生活支援員	3	3				3
職業指導員	4	4				4
目標工賃達成指導員	1	1				1
指導員補助	1			1		0.625
業務員	1	1				1
事務員	1	1				1
合 計	14	11	1	1		13.625

3 施設サービスの状況

(1) 個別支援

アセスメントにより利用者と家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び就労移行に対する考え方を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

(2) 作業支援

利用者個々の障害特性に応じた作業ができるように、可能な限り作業工程の単純化を図り、道具の工夫や手順の標準化に努め、継続的な作業環境の整備に努めた。また、利用者個々のスキルアップや能力を向上するための作業支援に努めた。

一方で、加齢により作業能率の低下が見られる利用者が増えつつある現状を踏まえ、対象となる利用者に対しては健康管理を優先し、無理の無い作業の取り組みとなるよう配慮した。

(3) 実習・就労移行支援

一般就労、就労移行希望者がいなかったが、利用者個々のスキルアップや能力・就労意欲の向上が図れるよう支援に努めた。

- ・就業・生活支援センター登録者 9名

(4) 社会生活支援

地域における催事等に積極的に参加し、利用者の社会参加促進に努めた。

また、利用者の生きがいのある豊かな生活のため、文化活動や季節感の感じられる各種行事を実施した。

- ・春の野外行事、お茶会、法人施設交流会、親睦旅行（松島・仙台方面 1泊2日）
忘年会、上長内地区ほのぼの給食会（年5回、地域交流）、慰労食事会等

(5) 給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、栄養と利用者の身体状況や嗜好に配慮し、バラエティーに富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

- ・給食サービス利用者数 41名（利用率93%）
・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり300円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の258円

(6) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に血圧・体重測定を行うほか、希望者には医療機関においてインフルエンザの予防接種を実施した（16名）。また、岩手県予防医学協会の訪問による健康診断を2月に予定していたが、実施当日がインフルエンザ蔓延防止に伴う臨時休園となったため、今年度の健康診断は未実施となった。

(7) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通勤が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

- ・送迎サービス対象者数 42名（利用率95%）

(8) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、松柏園消防計画に基づき、消防署指導による防災総合訓練（年1回10月）、通報・避難訓練（年1回4月）を実施した。

(9) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当支援員が参加するなど、グループホーム職員との情報共有を図りながら、チームケアの一員として生活支援に努めた。

4 利用者の状況（平成30年3月31日現在）

(1) 月別在籍者数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性(人)	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	336	28.0
女性(人)	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	204	17.0
合計(人)	46	46	45	45	45	45	45	45	45	45	44	44	540	45.0

(2) 障害種別

種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級	手帳なし	
人数	3	10	1	3	1	2	0	20	1	1	1	1	44
小計	20						20		4				44

(3) 年齢別

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
人数	4	4	3	10	10	13	44	50.2

(4) 出身市町村別

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	計
人数	29	6	6	3	0	44

5 施設利用状況

月別 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開所日数 (日)	20	22	22	22	21	21	22	22	22	20	18	22	254
延利用者 数(人)	872	931	928	914	877	868	921	890	906	798	704	910	10519
1日平均利 用者数(人)	43.6	42.3	42.2	41.5	41.8	41.3	41.8	40.4	41.1	39.9	39.1	41.4	41.4
利 用 率 (%)	94.8	92.0	93.7	92.3	92.8	91.9	93.0	89.9	91.5	88.7	88.9	94.0	92.0

6 就労支援事業の状況

(1) 年間就労支援事業収入

作業科	収 入 (円)	前年度対比 (%)
クリーニング	28,657,300	98.5%
縫製	2,445,012	98.1%
シルクスクリーン印刷	18,051,492	95.1%
合 計	49,153,804	97.2%

(2) 工賃支給状況

	29年度目標	29年度実績	備考(前年度実績)
平均工賃月額	29,200円	29,957円	29,412円

(3) 各科の状況

<クリーニング科>

年間売上は、前年比1.5%減となった。要因として市内宿泊施設の観光客や工事関係者の利用が徐々に減少している。

主力となる4施設の利用者私物クリーニングは順調に推移し、前年度とほぼ同額の作業確保となった。

一般クリーニングは、個人顧客の扱ひ量は減少傾向にあるが、民間事業所のユニホームや白衣等の受託、学校や団体等への継続的な営業活動により売り上げを確保した。

設備面では安全を確保しつつ、可能な部分

クリーニング収入内訳(円)		前年比 %
施設利用者私物 (老健等4施設)	18,632,705	100.9
リネンリース (旅館1か所)	4,670,797	89.1
基準寝具業務受託 (特養1施設)	1,431,867	100.8
一般(個人、団体等)	3,921,931	99.3
計	28,657,300	98.5

は職員対応で修理を行い経費削減に繋げた。

<縫製科>

年間売上は、前年比1.9%減となった。B社からの受託作業は縫製作業を中心に年間を通して安定し、前年比28.4%増となった。一方、A社からの受託作業は徐々に減少し、前年比29.6%減となった。要因として、A社工場内の作業効率化を図るため、糸切り作業を外注から内部作業に切り替えたことと、洗い工程作業の入荷量が減少したことによる。

縫製収入内訳（円）		前年比 %
子ども服仕上げ受託 縫製事業所 A 社	1,007,163	73.4
パジャマ仕上げ受託 縫製事業所 B 社	1,437,849	128.4
計	2,445,012	98.1

作業面においては、アイロン仕上げの能力向上へ向け作業指導を行った。また、高齢の利用者が多い事もあり、安全面、健康面等利用者の状況を確認し、無理のない作業の取り組みに配慮した。

<シルクスクリーン印刷科>

年間売上は、前年比4.9%減となった。昨年の久慈秋祭りが台風被害の為中止になった事で、昨年納品したタオルを今年使用する事により受注が少なかった。一方、Tシャツ類の売り上げは、あまちゃんマラソンの受注効果もあり、前年比68.5%増となった。

シルクスクリーン印刷収入内訳 （円）		前年比 %
タオル類	5,218,450	63.3
Tシャツ類	6,824,750	168.5
のぼり旗類	3,432,758	97.8
その他のアイテム	2,575,534	80.7
計	18,051,492	95.1

官公庁からの受注は減少しているが、個人や商店等の注文は増加している。打合せの対応や提案、印刷の品質をあげる事によりリピート率、口コミによる顧客増へ繋げる努力をした。また、仕入れや修繕費を抑えるため可能な部分は職員が対応し、資材の取引先、外注先の開拓を行い、利益確保に努めた。

7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
4	3	「松柏園だより」発行	園敷地内 ホール、食堂 食堂 ホール	利用者、職員 利用者、職員、給食会会員、保健師 利用者、職員6名 利用者45名、職員13名
	5	避難訓練		
	12	第1回ほのぼの給食会		
	13	親睦会総会		
5	27	教養講座「お茶会」		
	20	春の野外行事	久慈市内(久慈琥珀)	利用者40名、職員12名

6	1 1 4	「松柏園だより」発行 第2回ほのぼの給食会	ホール、食堂	利用者、職員、給食会会員、保健師
7	1 5	法人施設交流会 親睦会役員会	みずき園園庭 会議室	利用者 35名、職員 13名 利用者、職員 1名
8	1 2 1 1 12~15	「松柏園だより」発行 第3回ほのぼの給食会 特別工賃支給 お盆休み	ホール、食堂	利用者、職員、給食会会員、保健師
9	7	親睦会役員会	会議室	利用者、職員 1名
10	2 1 1 14~15 2 6	「松柏園だより」発行 第4回ほのぼの給食会 親睦旅行 防災総合訓練	ホール、食堂 松島・仙台 園敷地内	利用者、職員、給食会会員、保健師 利用者 38名、職員 17名 利用者、職員
11	8	親睦会役員会	会議室	利用者、職員 1名
12	1 1 3 1 5 1 6 2 5 2 9 30~1/3	「松柏園だより」発行 第5回ほのぼの給食会 特別工賃支給 忘年会 クリスマス会 大掃除 年末年始休み	ホール、食堂 えぼし荘 食堂	利用者、職員、給食会会員、保健師 利用者 38名、職員 13名、他 2名 利用者、職員
1	1 1	親睦会役員会	会議室	利用者、職員 1名
2	1 4	「松柏園だより」発行 節分昼食会（豆まき）	食堂	利用者、職員
3	7 2 2	親睦会役員会 慰労食事会	会議室 山海里	利用者、職員 1名 利用者 43名、職員 14名

*毎月15日は工賃支給日、体重・血圧測定、ごちそうの日

8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定について
毎月1回	授産会議	全職員	授産業務全般、工賃等について
毎月1回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
毎月1回	運営会議（4事業所合同）	園長、副園長、主任	法人内全事業所の経営について
年4回	給食会議（松柏園・みずき園 合同）	担当支援員	給食業務全般、栄養指導について

9 職員研修の状況

施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	研修内容
6/26 ～27	平成29年度社会福祉従事者新任職員研修会	岩手県社会福祉協議会	岩手産業文化センターアピオ	事務員	講義「職場生活の基本」 演習「メンバーシップとチームアプローチ」
9/20	平成29年度支援力を高めるコミュニケーションスキル研修	社会福祉法人岩手県社会福祉事業団	いわて県民情報交流センターアイーナ	職業指導員	講義 福祉サービスの現場におけるコミュニケーションの基本 演習 支援に役立つ具体的なコミュニケーションの取り方
10/20	29年度 第1回「発達障がい支援者セミナー」	久慈地域障害者自立支援協議会	久慈市総合福祉センター	職業指導員 指導員補助	発達障がいの理解
11/11	平成29年度岩手県障がい者協働生産施設協議会職員研修会	岩手県障がい者協働生産施設協議会	ホテル大観	園長 主任 職業指導員 主任 生活支援員 生活支援員 指導員 職業指導員	講演「今後の障がい者福祉施策について」 健康体操教室 「ウェルネスクラブ・レインボー健康体操で寝たきり0を目差す会」
11/22	高次脳機能障がい支援者研修会	地域生活支援センター久慈	久慈地区合同庁舎	主任 生活支援員	講演 「高次脳機能障がいの基本的理解と支援について」
12/4	29年度 第2回「発達障がい支援者セミナー」	久慈地域障害者自立支援協議会	久慈市総合福祉センター	職業指導員 指導員補助	発達障がいの理解
12/8	障がい者福祉協議会県北ブロック研修会	岩手県社会福祉協議会	二戸地区合同庁舎	生活支援員	講演 「権利擁護と意思決定支援」
12/12	平成29年度障がい者就労支援事業所研修会	岩手県社会福祉協議会共同受注センター	ふれあいランド岩手	園長	講義 「就労支援の今と未来を考える」～お客様に喜ばれる商品作り
12/22	29年度 第3回「発達障がい支援者セミナー」	久慈地域障害者自立支援協議会	久慈市総合福祉センター	職業指導員 指導員補助	発達障がいの理解
1/26	平成29年度工賃引き上げ支援セミナー	岩手県保健福祉部	ふれあいランド岩手	指導員	共同受注センターの活用について、 報告 農福連携の取り組み状況、県内における工賃引き上げ等の取り組みについて

平成 29 年度 みずき園事業報告書

1 総括

みずき園事業計画及び運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障害特性を尊重しながら、生産活動と生活支援を通じて知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら、適切な指定就労継続支援B型サービスを実施した。

施設の利用状況は、新規利用者が1名、年度途中での退所者が2名あった。曜日指定の登園利用者の増、長期入院や体調不良による長期欠席者も続いたため一日の平均利用者数は昨年をやや下回った。

就労支援事業においては、利用者の高齢化、障害特性や日々の心身状態の変化に応じた細かな作業支援に努めながら、安全管理、品質の維持管理、顧客ニーズに合わせた商品の製造・販売をした。食品製造科を中心に新商品の販路拡大を継続しながら、農福連携のモデル事業として施設外就労にも初めて取り組み、授産収入向上に努力した結果、収入は昨年をやや上回った。

利用者支援においては、日中活動における創作活動の継続と種類の研究、利用者の嗜好や特性に配慮し、カラオケ機器を継続活用しながら、園内外での多様な各種行事を組み合わせることによって「仲間と一緒に過ごす楽しさや協力する気持ち」を持てるよう支援した。

2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定員 40名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 授産種目 食品製造・リサイクル・製粉加工・その他
- (6) 職員の配置状況 (平成30年3月31日現在)

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算	備 考
		専従	兼務	専従	兼務		
管理者	1		1				
副園長	1		1				
総務課長	1	1				1	
主任生活支援員	2	2				2	
サービス管理責任者	1	1				1	
職業指導員	6	3		3		5.437	
目標工賃達成指導員	1	1				1	
調理員	2			2		1.406	
合 計	15	8	2	5		11.843	

3 施設サービスの状況

(1) 個別支援

個別の面談や家庭訪問を実施し(年2回)、利用者と家族の希望の聞き取りをしながら心身状態、家庭での状況、サービスの意向等を把握したアセスメントにより、本人の希望す

る作業内容や生活支援を中心とした個別支援計画を作成した。また、モニタリングにより支援計画の検証を行い、支援の方向性や希望を再確認しながら個別の利用者支援に努めた。

- ・支援検討会議 年2回開催
- ・モニタリング会議 年1回開催

(2) 作業支援

利用者の個別支援計画により、特性を考慮した上で取り組む作業科を決定し、年間を通して同一作業科を継続しての取り組みをしながら、創作活動、軽運動、気分転換を目的とした多様な活動を組み入れることにより、心身の安定と生産能力や意欲の維持向上、翌日への楽しみにつなげ、納品や回収にも職員と帯同するなど仕事の達成感を得られるよう支援した。また、ほうれん草農家での農福連携のモデル事業は初めてであり、安全を最優先し、多様な作業内容に対して利用者が積極的に取り組むことが出来るよう支援の工夫をした。

販売面においては、菓子の新パッケージ商品の販売先の新規開拓に努め、新たに2か所確保した。また、授産商品を市内催事への出張販売を積極的に行い、夏季・冬季のギフト販売では固定顧客を中心とした一般家庭への戸別訪問販売の継続と企業・団体等を訪問し営業宣伝活動を行ない、社会参加や地域理解の促進を図った。

(3) 社会生活支援

一人ひとりの可能性を伸ばすために社会参加を促進し、豊かな感性の助長と生きがいある生活支援のために、各種行事を積極的に企画し実施した。また、新たな試みとして、秋・冬のお楽しみ会では「園内卓球バレー大会」を行い、障害の種別に関わらず皆が楽しむことが出来た。

春のはつらつ行事（平庭高原）、教養講座「お茶会」、岩手県障がい者スポーツ大会、清掃奉仕活動、法人交流会、1泊2日ふれあい旅行（北上市方面）、リフレッシュ教室（ふれあいランドいわて・スポーツ支援事業を活用）、秋のお楽しみ行事（園内）、ふれあい交流スポーツフェスタ、家族合同大忘年会、クリスマス会、ミズキまつり、冬のお楽しみ行事（園内）、慰労食事会、上長内地区ほのぼの給食会（年6回、地域交流）等

(4) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、毎月の工賃支給日に体重測定を行うほか、岩手県予防医学協会の移動検診車による健康診断を年1回（2月）施設内で実施。また、希望者には医療機関においてインフルエンザの予防接種（11月・26名）を実施した。

(5) 給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、利用者の身体状況、栄養や嗜好に配慮するために、アンケート調査を実施し（年2回）、少食を希望する利用者へも対応しながら、調理可能な範囲でバラエティーに富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

- ・給食サービス利用者数 41名（利用率93.2%）
- ・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり340円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の298円

(6) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。利用者38名（利用率86.4%）

(7) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、みずき園消防計画に基づき、消防署指導による総合防災訓練（年1回10月）、自主避難訓練（年1回4月）を実施した。

(8) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、各グループホームと連携しながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

また、毎月開催されるグループホーム個別支援会議を通して利用者情報を共有しながら職員間の連携を図り支援に努めた。

4 利用者の状況（平成30年3月31日現在）

(1) 月別在籍者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
男性	26	27	27	25	25	25	25	25	25	25	25	25	305	25.4
女性	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228	19.0
合計	45	46	46	44	44	44	44	44	44	44	44	44	533	44.4

(2) 障害種別

	知的障害		身体障害	精神障害	合計
	A判定	B判定	1級	1級	
男性	11	12	1	1	25
女性	6	13	0	0	19
合計	17	25	1	1	44

(3) 年齢

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
人数	1	16	11	6	9	1	44	37.16

(4) 出身市町村別

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	軽米町	計
人数	28	11	3	1	1	44

5 施設利用状況

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	20	21	22	22	21	22	21	22	22	20	20	22	255
延利用者数	712	781	784	780	743	810	746	773	803	712	714	789	9,147
1日平均利用者数	35.6	37.2	35.6	35.5	35.4	36.8	35.5	35.1	36.5	35.6	35.7	35.9	35.9
利用率(%)	79.1	80.8	77.5	80.6	80.4	83.7	80.7	79.9	83.0	80.9	81.1	81.5	80.8

6 就労支援事業の状況

(1) 年間事業収入

作業科		収入(円)	前年度対比(%)
食品製造科		5,846,072	107.49
	菓子製造	5,547,682	113.5
	出店販売	298,390	54.0
受託事業科		3,042,502	100.77
	松柏園給食業務	2,981,052	98.7
	その他	61,450	—
リサイクル科		2,108,797	101.91
園内	ウエス	556,200	85.5
	古着販売	493,633	104.0
	自主製品	59,600	88.4
	クリーニング取次等	23,120	83.1
	味噌	64,500	115.7
園外	缶等リサイクル	460,430	98.5
	農園作業(委託料含む)	112,350	98.1
	その他(剪定残材処理受託等)	338,964	163.8
製粉事業		1,767,556	97.51
	製粉加工	793,691	103.7
	商品販売	833,817	91.7
	のだ塩	140,048	101.3
合計		12,764,927	103.44

(2) 工賃支給実績

	29年度目標	29年度実績	備考(前年度実績)
平均工賃月額	7,300円	7,153円	6,755円

(3) 各科の状況

①食品製造科		
[菓子製造]	「株式会社のだむら」様を主として地元取引業者より継続的な受注を受けた。夏季・冬季のギフト販売では例年並みの売上目標を設定し、利用者と共に安全を確保しながら固定顧客を中心に戸別訪問販売や一般企業・団体等へチラシ配布の営業販売を継続し、夏季・冬季共に売上目標を達成した。昨年度、主力商品の「のだ塩サブレ・クッキー」「おこし」のパッケージデザインの刷新を行ったことに合わせて、新規取引先の営業開拓を継続した結果、新たな売り場(三陸鉄道久慈駅内、産直まちなか)を確保した。 また、箱菓子の常時販売商品として「オリジナルセット」を2種類整え、チラシを作成し周知に努めた。	
②受託事業科		
[松柏園給食業務]	衛生管理、無事故の徹底、個別の希望(少食、アレルギー等)に対応しながらより良い給食提供に努めた。配膳作業や片付け作業に取り組むことが出来る利用者の配膳技術が向上したことにより安定した提供が出来た。	
③リサイクル科		
[ウエス]	混紡素材の衣類の流行により、一般市民の寄付や問屋よりの綿素材の生地確保が厳しい状況であった。問屋より都度、在庫分の仕入れをしながら良質で安定した商品製造に努めたが、問屋にも特定の生地のみ在庫しかない状況が続いた。そのため新規取引先の開拓が難しかったが、既存の取引企業には定期的に注文を受け納品した。	
[古着・自主製品販売]	6月に「サマーバザール」を、11月には「オータムバザール」を企画・開催し、例年並み以上の売り上げを達成した。販売用の古着や日用品等の在庫が減少しつつあるため、新聞折り込みチラシにて、古着等の寄付を募った。自主手芸製品の製作については、加齢や障害特性の多様化により利用者が取り組むことが出来る作業工程が減少しているが、興味や楽しみを感じられる活動を研究しながら作業を進めた。	
[缶等リサイクル]	空き缶、新聞・雑誌等の定期的な自主回収と、利用者家族へも持ち込みを定期的呼びかけ、安定した作業材料の確保に努めた。四季による天候の変化に対応できるように、夏場は作業現場に飲料や冷感タオルを用意し、秋以降は室内において作業を行い、利用者の体調管理や作業意欲の維持向上に努めた。	

	[農園作業]	久慈市社会福祉協議会「ふれあい農園」の委託契約により春季にはジャガイモを栽培しながら環境整備に努め、例年並みの量を収穫し納品した。また、農福連携のモデル事業として、「久慈地方農業農村活性化推進協議会」との委託契約により、6月中旬より連続5週間、ほうれん草農家での施設外就労に取り組んだ。ほうれん草の収穫、調整、袋詰めに至る補助作業等、初めての作業内容であったが、参加した利用者には充実感も見られ、貴重な体験となった。
④製粉事業		
	[製粉加工]	既存取引企業の桑葉製粉加工を主に、安定した受注を受けた。個人客の受注については、依頼人が固定化し、そこからのロコミによる新規顧客の獲得のためにチラシを作成し宣伝に努めた。また、小ロット受注の料金改定を行い、売上げの向上と作業効率化を図った。
	[商品販売]	オリジナル商品を市内、近隣町村の産直や土産店で販売を継続しつつ、新規取引先の開拓を行い、新たな売り場（産直まちなか）を確保した。「桑の葉パウダー」は特定の産直において売上が伸び、定期的な桑の葉の仕入れに努めた。「切干大根」も継続販売し製造分を市内産直にて完売した。

7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
4	4	利用者入所式	食堂	入所者1名、家族、利用者、職員 対象利用者2名、利用者、職員
	20	年間皆勤表彰式	園内	
	21	みずき通信「春号」発行		
	23	第1回家族会役員会	食堂	家族会役員9名、職員3名 利用者、職員 利用者、職員
	25	自主避難訓練	園敷地内	
	27	教養講座「お茶会」	松柏園ホール	
5	10	第1回ほのぼの給食会	会議室、食堂	利用者、職員、ほのぼの利用会員、保健師 利用者、職員 家族会会員、職員6名
	13	春のはつらつ行事	平庭高原	
	21	家族会総会	食堂	
6	3	岩手県障がい者スポーツ大会	県営運動公園	利用者12名、職員4名 実習生2名 利用者10名、職員5名 全職員
	5~23	久慈拓陽支援学校前期実習受け入れ		
	6	清掃奉仕活動	長内町内自動車待避場	
	17	サマーバザール	園内	
7	1	法人交流会	園庭	利用者、職員 利用者、職員、ほのぼの利用会員、保健師
	12	第2回ほのぼの給食会	園内	
	28	みずき通信「夏号」発行		
8	11	夏期特別工賃支給、皆勤表彰	園内	利用者 利用者、職員 実習生1名
	12~15	夏季休暇		
	28~9/1	久慈拓陽支援学校現場実習受け入れ		
9	10	第2回家族会役員会	食堂	家族会役員8名、職員3名 利用者、職員、ほのぼの利用会員、保健師 利用者、職員
	13	第3回ほのぼの給食会	会議室、食堂	
	23	ふれあい福祉まつり	福祉の村	

10	5～6 10～20 2 5 2 6 2 7 3 0	ふれあい旅行 久慈拓陽支援学校後期実習受け入れ ふれあい交流スポーツフェスタ 総合防災訓練 みずき通信「秋号」発行 リフレッシュ教室 (ふれあいランド岩手スポーツ支援事業活用)	北上市方面 園敷地内、松柏園園庭 長内市民センター	利用者、職員 実習生3名 利用者25名、職員4名 利用者、職員 利用者14名、職員5名
11	4 8 9・1 1 1 2 2 3	オータムバザール 第4回ほのぼの給食会 インフルエンザ予防接種 第3回家族会役員会 秋のリフレッシュデー	園内 会議室、食堂 関上こどもクリニック 食堂 園内	職員 利用者、職員、ほのぼの利用会員、保健師 希望者26名 家族会役員7名、職員3名 利用者、職員
12	9 2 5 2 9 2 9 30～1/1	家族合同大忘年会 クリスマス会 冬期特別工賃支給、皆勤賞表彰 年末大掃除・仕事納め式 年末年始休暇	えぼし荘 食堂 園内 園内	利用者、家族、職員 利用者、職員 利用者 利用者、職員 利用者、職員
1	4 1 2 1 2 2 6	仕事始め式 ミズキまつり 第5回ほのぼの給食会 みずき通信「冬号」発行	作業室 作業室 作業室	利用者、職員 利用者、職員、ほのぼの利用会員、 保健師、関係者等
2	6 1 6	利用者健康診断 冬のお楽しみ行事	園内(岩手県予防医学協会検診車) 園内	利用者 利用者、職員
3	3 1 4 2 9	第4回家族会役員会 第6回ほのぼの給食会 慰労食事会	食堂 会議室、食堂 えぼし荘	家族会役員7名、職員3名 利用者、職員、ほのぼの利用会員、保健師 利用者、職員

※毎月20日は工賃支給日、体重測定、ごちそう給食の日

8 定例会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定、授産業務全般について
毎月1回	工賃支給会議	全職員	利用者の工賃支給額の決定について
年2回	支援検討会	園長、支援員	利用者の個別支援計画について
年1回	モニタリング会議	園長、支援員	利用者の個別支援計画の振り返り
毎月1回	グループホーム支援会議	園長、担当支援員、全世話人	4ホームの運営全般について
毎月1回	グループホーム個別支援会議	担当支援員、世話人	入居利用者の個別支援について
毎月1回	運営会議(4事業所合同)	園長、担当職員	各事業所の経営について

年 2 回	工賃評価会議	園長、担当職員	利用者の作業能力評価について
年 4 回	給食会議（松柏園、みずき園合同）	園長、担当職員	給食業務全般、栄養指導について

9 職員研修の状況

（1）施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
8/23	内部職員研修	副園長 鈴木潔	職業指導員 生活支援員	6名	支援力向上研修1 ～支援とは～
9/19	内部職員研修	副園長 鈴木潔	職業支援員 生活支援員	6名	支援力向上研修2 ～障がい特性について～
3/22	内部職員研修	副園長 鈴木潔	職業支援員	5名	支援力向上研修3 ～個別支援について～

（2）施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	研修内容
6/26～27	社会福祉従事者新任研修会	岩手県社会福祉協議会	岩手産業文化センター	職業指導員 事務員	職場に必要な基礎知識・技術の修得を図る
6/28	事業所対象研修会	久慈地区障がい者就労支援ネットワーク 久慈地域障害者自立支援協議会	ロイヤルパークカワサキ	園長	実習や雇用の場の拡大と、うつ病の方とともに働くためのかわり方のポイントを知る
7/29	上級救命講習会	久慈法人会	久慈市防災センター	主任生活支援員	AEDの操作法と救急時の一次救急処置について
8/31	農福連携事業説明会	岩手県社会福祉協議会	ふれあいランド岩手	主任生活支援員	岩手県社協の農福連携事業の内容と取組方針について
9/20	支援力を高めるコミュニケーションスキル研修	岩手県社会福祉事業団	いわて県民情報交流センター	職業指導員	福祉サービスを円滑に進めるためのコミュニケーションの基本を学ぶ
10/20	発達障がい支援者セミナー	久慈地域障害者自立支援協議会	久慈市総合福祉センター	職業指導員	発達障がいの理解と支援のため支援者相互の連携を通じてスキルアップを図る
11/2	園芸労働力確保支援対策事業先進地視察	久慈地方農業農村活性化推進協議会	ユートピアの会 青森県三八地域県民局	主任生活支援員	農福連携の体制づくりを進めて行くための先進地域の事調査
12/4	発達障がい支援者セミナー	久慈地域自立支援協議会	久慈市総合福祉センター	職業指導員	知的障がいを伴う自閉スペクトラム症者への対応法
12/22	発達障がい支援者セミナー	久慈地域自立支援協議会	久慈市総合福祉センター	職業指導員	知的障がいを伴わない自閉スペクトラム症者への対応法
1/24	平成29年度食品表示説明会	岩手県環境生活部	久慈地区合同庁舎	目標工賃達成指導員	新しい表示基準の正しい理解と適正表示法の理解
1/26	平成29年度工賃引き上げセミナー	岩手県保健福祉環境部障がい保健福祉課	ふれあいランド岩手	主任生活支援員 目標工賃達成指導員	工賃向上計画に基づき、工賃の向上とノウハウの共有を図る
2/1	園芸労働力確保支援対策事業実績検討会	久慈地方農業農村活性化推進協議会	アンバーホール	主任生活支援員	今年度の事業実績報告と農福連携の継続発展のための検討会

2/2	障がい者労働支援事業所研修会	岩手県社会福祉協議会	宮古市総合福祉センター	目標工賃達成指導員 職業指導員	流通販売の仕組みや商品開発のポイントを学ぶ
3/13	障がい者就労支援事業所研修会	岩手県社会福祉協議会 いわて障がい者就労支援振興センター	みずき園食堂	サービス管理責任者 目標工賃達成指導員 職業指導員	栄養成分表示の義務化に対する栄養成分の計算方法を学ぶ

平成 29 年度 共同生活援助事業報告書

1 総括

みずき園共同生活援助事業運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障がい特性、ニーズに合わせて地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援した。また、利用者の疾病、加齢に伴う心身状態の変化に伴い関係機関、医療機関、家族との連携を強化し支援を行った。

5月以降は入退所の変動は無かったが、休日や長期休暇に家族の元へ帰省する機会が減少しホームで過ごす利用者が増加傾向で推移した。また、入居希望者の新規受入れに向けて体験実習を繰返し、次年度正式入居に繋げる事が出来た。

2 共同生活住居の所在地・定員

名称	所在地	定員及び内訳	総定員	事業所名
みずきハウス	久慈市長内町第20地割61番地4	共同生活援助5人	22人	みずき園
なごみハウス	久慈市栄町第37地割78番地16	共同生活援助5人		
のどかハウス	久慈市川貫第5地割20番地67	共同生活援助6人		
きららハウス	久慈市川貫第9地割24番地1	共同生活援助6人		

3 職員の職種・職務内容

職員の職種	員数	専従	兼務	職務内容
管理者	1		1	従業者及び業務の管理を一元的に行うとともに、従業者に法令等を厳守させるため必要な指揮命令を行なう
サービス管理責任者	1	1		個別支援計画の作成及びサービス内容の評価・管理等を行う
生活支援員	1	1	1	個別支援計画に基づきサービス提供や利用者の心身の把握を行う
世話人	5	5		日常生活全般に係る相談支援、食事提供等
代替世話人	2	2		日中・夜間見回り、休日見守り支援等
事務員	1		1	庶務及び会計

4 利用者の状況

(1) 月別・ホーム別利用者数

ホーム別	月別												計	充足率 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
みずきハウス (定員5人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	100%

なごみハウス (定員5人)	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	59	98%
のどかハウス (定員6人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	83%
きららハウス (定員6人)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	100%
合 計	20	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	251	95%

(2) 障害支援区分別利用者数

障害支援区分 \ 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	73
区分2	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	130
区分3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
区分4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合 計	20	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	251

(3) 出身市町村別

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	一戸町	田野畑村	計
人 数	9	7	2	1	1	1	21

5 サービス内容

(1) 個別支援

利用者の人権を尊重し、一人ひとりのニーズを大切にしながら、本人及び家族の合意を得た個別支援計画に基づいて関係機関と連携を取り支援を実施した。又、必要に応じて買い物や行事参加の同行支援や各種手続き支援を行った。

(2) 食事の支援

栄養並びに嗜好を考慮し、利用者一人ひとりの心身状態に配慮した食事を適切な時間に提供した。また、休日の昼食は各自自由に用意しているが必要な場合は買物等の同行、代行支援を行った。

※一般就労している利用者の勤務時間によって個別対応あり（昼食、夜食）。

(3) 入 浴

1週間に3回以上の入浴、希望により毎日の入浴を行った。一人で入浴が難しい利用者に対して入浴準備、見守り支援を行った。

(4) 排 泄

個人のプライバシーを尊重の上、利用者の心身の状況に応じて適切な方法により、必要な援助を行った。

(5) 生活支援

一人ひとりが地域で暮らし続けられるように家族や関係機関との連携、日常生活自立支援事業との連絡調整を行った。また必要に応じて各種手続きの同行、代行支援を行った。

(6) 健康管理

利用者一人ひとりの健康状態を把握し、必要に応じて掛かりつけ医や協力病院での定期通院、不定期通院等の通院同行支援を行った。また、健康診断、食事栄養指導、入院時の各種手続き、面会等を行った。

(7) 余暇支援

利用者の希望を尊重しホーム内外での交流や市外への外出等を積極的に取入れ余暇の充実に繋げる事が出来た。又、ホーム毎で季節感ある行事やホーム合同の行事を開催し、長期休暇に家族の元に帰宅が難しい入居者においてはイベントの見学や行事食の提供を行った。

＜ホーム合同行事、イベント見学、夕食、クリスマス会、慰労食事会、等＞

(8) 相談・援助

利用者の心身の状況や環境等の把握に努め、利用者または家族の相談に応じながら、必要な助言やその他の援助を行った。

また、各市町村、関係機関と連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援を行った。

6 利用料金（事業者が利用者から直接受領する費用及びその額は次のとおり）

	サービス利用料	家賃 (個室)	食費 (1食あたり)	水道光熱費 (電気、水道、灯油、日用品費等)
みずきハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	20,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
なごみハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	25,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
のどかハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
きららハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収

※家賃については、市町村からの家賃補助を受ける場合、月額10,000円を控除した額を受領。

7 非常災害対策

災害時を想定した避難、通報、消火訓練を4ホーム合同、各ホーム毎に実施。(12月)

災害時を想定した避難、支援者不在時の擬似通報体験を各ホーム毎に実施。(3月)

8 定例会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	グループホーム全体支援会議	園長、サービス管理責任者、生活支援員、世話人等全員	グループホーム全体の利用者支援について

毎月1回	各ホーム支援会議（ホーム毎）	サービス管理責任者、生活支援員、担当世話人等	利用者の個別支援について
------	----------------	------------------------	--------------

9 職員研修の状況

(1) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加者名	研修内容
8/21～ 8/22	第29回全国グループホーム研修会	日本知的障害者福祉協会	フェニックス・プラザ（福井県）	生活支援員 世話人		「重度・高齢の利用者の暮らし向上を目指したグループホームを考える」 「24時間体制で支援するグループホーム」
10/21	平成29年度「第1回発達障がい支援者セミナー」	久慈市地域障害者自立支援協議会	久慈市総合福祉センター	世話人		「発達障がいの理解」
11/27	平成29年度高次脳機能障がい支援者研修	地域生活支援センター久慈	久慈地区合同庁舎	生活支援員 世話人		「高次脳機能障がいの基本的理解と支援について」

平成29年度 あすリード本舗事業報告書

1 総括

あすリード本舗運営規程に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な就労移行支援サービス及び就労継続支援A型サービスを提供した。

就労移行支援サービスにおいては、年度当初、新規利用者1名を受け入れ利用契約者は3名でのスタートとなった。就職実績は2月に清掃事業所へ1名、菓子製造事業所に1名が就職することができた。就労継続支援B型利用を希望する、支援学校在学生6名、在宅の方3名について就労アセスメントを実施した。

就労継続支援A型事業サービスにおいては、年度当初の利用契約者は26名でスタートし、9月末で長期未利用者2名が退所し、3月に1名が燃料小売事業所へ就職した。

平成29年4月1日に就労継続支援A型の基準条例の改正及びこれらに伴う指定基準の見直し等が行われたことにより、基準に適合していないとのことで、経営改善計画書等の提出を求められ平成29年9月21日に提出した。

また、あすリード本舗の今後の事業形態について検討を重ね、次年度10月よりA型事業及び就労移行支援事業を廃止しB型事業へ転換することを平成29年11月22日開催の第6回理事会において承認され、平成30年1月27日にA型事業利用者及びご家族への説明会を開催し、その後、利用者及びご家族と個別面談を実施し、一般就労希望者への支援を開始した。

2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労移行支援、就労継続支援A型
- (2) 指定年月日 平成23年4月1日
- (3) 定員 就労移行支援 6名
就労継続支援A型 30名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 就労支援種目
就労移行支援 菓子製造作業、企業実習、販売実習
就労継続支援A型 麺製造作業、菓子製造作業、南部煎餅製造作業、販売事業、
受託作業（のだ塩、炭袋詰め等）
- (6) 職員の配置状況（平成30年3月31日現在）

指定障害福祉サービス共通

（単位：人）

職 種	員数	常勤		非常勤		常勤換算	備考
		専従	兼務	専従	兼務		
施設長（管理者）	1	1				1	
サービス管理責任者	1	1				1	
事務員	1		1			0.8	
合 計	3	2	1			2.8	

就労移行支援

(単位：人)

職 種	員数	常勤		非常勤		常勤換算	備考
		専従	兼務	専従	兼務		
生活支援員	1		1			0.2	
職業指導員	1	1				1	
就労支援員	1	1				1	
合 計	3	2	1			2.2	

就労継続支援A型

(単位：人)

職 種	員数	常勤		非常勤		常勤換算	備考
		専従	兼務	専従	兼務		
生活支援員	1	1				1	
職業指導員	3	3				3	
合 計	4	4				4	

3 施設サービスの状況

(1) 個別支援

利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、利用者本人及び家族等の同意を得た個別支援計画を作成し、利用者個々の実情に応じた作業ができるように環境を整え、就労への作業意欲、能力の向上に向けた継続的な就労の場を提供するとともに、個々の勤労意欲が高まるよう支援した。

(2) 社会生活支援

文化活動、余暇活動を実施することにより、利用者の生活を豊かにするとともに社会参加や生きがいづくり等の支援を行うため、利用者自治会への支援を実施した。

(3) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に体重及び血圧測定を行うほか、健康診断を2月に実施した。

(4) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通勤ができない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

・送迎サービス対象者数 19名

(5) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、あすリード本舗消防計画に基づき、消防署指導による防災総合訓練（年1回10月）、通報・避難訓練（年1回5月）を実施した。

(6) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当支援員が参加するなど、グループホーム従業者との情報共有を図りながら、チームケアの一員として生活支援に努めた。

(7) 苦情受付体制

提供した施設サービスについて利用者やその家族からの苦情・相談を受け付ける苦情受付窓口を設置し、利用者主体の福祉サービスの確保と権利擁護に努めた。

4 利用者の状況 (平成30年3月31日現在)

(1) 月別在籍者数

就労移行支援

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
男性	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	32	2.66
計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	32	2.66

就労継続支援A型

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
男性	16	16	16	16	16	16	15	15	15	15	15	14	185	15.4
女性	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	114	9.5
計	26	26	26	26	26	26	24	24	24	24	24	23	299	24.9

(2) 障害種別

就労移行支援

(単位：人)

種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級	手帳なし	
人数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
小計	0						1		0				

就労継続支援A型

(単位：人)

種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級	手帳なし	
人数	1	3	0	0	1	0	0	17	1	0	0	0	23
小計	5						17		1				

(3) 年齢別

就労移行支援

(単位：人、才)

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
人数	1	0	0	0	0	0	1	19.0

就労継続支援A型

(単位：人、才)

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
人数	0	6	3	13	0	1	23	38.1

(4) 出身市町村別

就労移行支援

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	田野畑村	計
人数	1	0	0	0	1

就労継続支援A型

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	計
人数	15	4	4	0	23

5 施設利用状況

就労移行支援

(単位：日、人、%)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	22	22	22	21	22	22	22	23	22	20	22	260
延利用者数	57	64	65	65	62	65	65	66	64	61	20	21	675
1日平均利用者数	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	3.0	2.8	2.8	1.0	1.0	2.6
利用率	95.0	97.0	98.5	98.5	98.4	98.5	98.5	100	92.8	92.4	100	95.5	97.0

就労継続支援A型

(単位：日、人、%)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	22	22	22	21	22	22	22	22	21	20	22	258
延利用者数	448	488	484	492	470	487	463	474	468	459	453	487	5,673
1日平均利用者数	22.4	22.2	22.0	22.3	22.4	22.1	21.0	21.5	22.8	21.8	22.6	22.1	22.0
利用率	86.2	85.3	84.6	86.0	86.1	85.1	87.7	89.8	88.6	91.1	94.4	92.2	88.0

6 就労支援事業の状況

本年度の就労支援事業収入は 49,036 千円と前年対比 99.1%と前年を下回る実績となった。特にも食品製造事業、煎餅事業の落ち込みが顕著に見られ、今後の立て直しが課題となった。

就労支援事業収支差額は-6,671 千円と前年対比 84.6%とマイナスは減少したものの、かなり厳しい数字となった。

(1) 年間事業収入

項目	収入 (円)	前年度対比 (%)
食品製造事業	5,294,816	91.5
製麺事業	31,848,819	100.8
販売事業	3,333,050	116.7
その他の事業	4,919,886	102.5
煎餅事業	3,639,873	82.3
合計	49,036,444	99.1

(2) 工賃、賃金の支払い状況

就労移行支援

支払総額	一人当支払額 (月額)	備考 (前年度実績)
528,800 円	16,908 円	16,192 円

就労継続支援 A 型

支払総額	一人当支払額 (月額)	備考 (前年度実績)
21,758,130 円	76,344 円	75,732 円

※未利用者は除く。

(3) 各事業の状況

<食品製造事業>

年間売上は 5,295 千円となり前年対比 91.5%と減少した。全ての商品が前年より売り上げが落ち込み、特にクレープ等の生菓子が前年比 84.6%と大きく落ち込んだ。

収支差額はすべての商品が手作りで労務費が過大であり、△8,818 千円と前年対比 82.6%となったが依然として収支の均衡がとれない状況となっている。

ホタテドレッシングの製造委託を 8 回受託し行った。

収支状況 (円)		
収入	かりんとう	3,032,905
	その他菓子類	2,261,911
	計	5,294,816
支出	販売原価	14,093,707
	販売管理費	19,541
	計	14,113,248
部門収支		▲8,818,432

<製麺事業>

年間売上は 31,849 千円となり、前年度対比 100.8%となった。売上については、既存取引先の取引額が減少しているなかで、前年度並みの売り上げを確保できた理由としては、新規に出店したラーメン店との取引を開始したこと、ゆうパックが前年対比 148.3%と大幅に伸びたことがあげられる。

製造については、月平均製造数が 117 袋となっており、製造能力にかなりの余裕があり、麺の売込みを進めていく必要がある。

収 支 状 況 (円)		
収入	袋・パック・箱	13,150,466
	麺 類	15,897,527
	ス ー プ 類	2,800,826
	計	31,848,819
支出	販 売 原 価	22,544,863
	販 売 管 理 費	3,097,637
	計	25,642,500
部門収支		6,206,319

<販売事業>

年間売上は、3,333 千円となり、前年度対比 116.7%となった。

ギフト商品については、乾麺を他県の障がい福祉施設、県内の業者から仕入れて行った。

また、法人内部の連携も行い、クッキー、サブレ等の販売も行った。

外部販売については、利用者 2 名が週 1 日行った。

収 支 状 況 (円)		
収入	パ ン	258,470
	ギ フ ト 商 品	1,351,971
	そ の 他	1,722,609
	計	3,333,050
支出	販 売 原 価	1,968,845
	販 売 管 理 費	2,145,637
	計	4,114,249
部門収支		▲781,199

<その他事業>

年間売上は、4,920 千円となり、前年度対比 102.5%と増加した。

木炭の袋詰め作業の受託については、注文が集中する時期もあったが注文に間に合わせた生産が行われ、前年対比 98.1%と前年並みの実績となり、のだ塩作業受託については、前年対比 102.9%と増加した。

また、市役所から今年度も産業まつりの準備作業について受託することができた。

収 支 状 況 (円)		
収入	野 田 塩 作 業 受 託	1,794,936
	炭 作 業 受 託	2,687,267
	そ の 他 作 業 受 託	437,683
	計	4,919,886
支出	販 売 原 価	6,647,077
	計	6,647,077
部門収支		▲1,727,191

< 煎餅事業 >

年間売上は、3,640千円となり、前年度対比82.3%の減少となった。県外からの注文が減少したことにより、商品全体が落ち込み、特にイラストせんべいの落ち込みが前年比72.4%と大きかった。

収 支 状 況 (円)		
収入	南 部 煎 餅	3,143,895
	イ ラ ス ト 煎 餅	495,978
	計	3,639,873
支出	販 売 原 価	5,108,879
	販 売 管 理 費	81,434
	計	5,190,313
部門収支		▲1,550,440

7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
5	18	避難訓練	施設内	利用者・職員
5	24	親睦行事	大野パークゴルフ場	利用者・職員
10	7	親睦行事	秋田県鹿角市	利用者・職員
10	26	総合防災訓練・避難訓練	施設内	利用者・職員
12	2	忘年会	ロイヤルパーク川崎	利用者・職員
2	6	健康診断（予防医学協会）	みずき園	就労移行利用者
2	15	健康診断（予防医学協会）	市民体育館	A型利用者

※毎月10日は、給料日、工賃支給日及び体重・血圧測定

8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内 容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定について
毎月1回	販売会議	全職員	授産業務全般について
毎月1回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
毎月1回	手話講習会	利用者	手話講習
毎月1回	運営会議	施設長、担当職員	法人内全事業所の経営について

9 職員研修の状況

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職員	参加人数	研修内容
8/30	ネット社会における危険性等について講話	久慈警察署	全職員・全利用者	33名	ネット社会の危険性について

(2) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場 所	参加職種	研修内容
6/26	障がい者アート研修会	久慈地域障害者自立支援協議会	あーとびる麦生	生活支援員	障害者アートの現況や意義 実践経験等
11/12	障害者差別解消法研修会	障がい者協議会県北ブロック	県北広域振興局	施設長	苦情等を通じた、差別解消法の理解

平成29年度 チャレンジドセンター久慈事業報告

1. 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）実施結果

区分	計画内容	具体的実施状況	備考
1 人件費	主任就業支援担当者1名、就業支援担当者2名を配置し、以下の業務を行う。	主任就業支援担当者1名、就業支援担当者2名を配置し、以下の業務を実施した。	
2 事業費	<p>○障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の援助を行う。</p> <p>○事業主に対して障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う。</p> <p>○障害者に対して、職業準備訓練及び職場実習をあっせんする。</p> <p>○在職中の対象障害者を対象に、グループワーク等で職場での悩み等を話し合う交流の場を定期的に提供し、不適応課題の早期把握・改善を図り職場定着の促進を図る。 (年5回)</p>	<p>○障害者からの相談・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象障害者数 118名 ・相談支援件数 1,573件 ・就職件数 16件 <p>○事業主に対する助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象事業所数 16社 ・相談支援件数 27件 <p>○職場実習等のあっせん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あっせん件数 21件 <p>○主な相談支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力企業を中心に支援への協力を働きかけ、職場実習を行った。 ・再就職に向けた取り組みや職場説明会 ・事業所対象研修会を開催し就職への支援を行った。 <p>○在職中の支援対象者を対象として、以下の事業を行った。計画では年5回を予定していたが対応が間に合わず年4回の開催となった。</p> <p>第1回 平成29年5月24日(水) 「私の仕事報告会」 在職者…10名参加</p> <p>第2回</p>	

	<p>○障害者就業総合支援センターにおける就業・生活支援センター基礎研修を受講し、業務に必要な知識・スキルを習得する。 (就業支援担当者1名)</p> <p>○ 障害者就業・生活支援センターにおける就業支援担当者経験交流会議に出席し、他のセンターとの交流・情報交換を行う。(就業支援担当者1名)</p> <p>○ その他、岩手県並びに関係機関及び団体が主催する会議・研修に参加し資質の向上に努める。 (主任就業担当者1名、就業支援担当者2名)</p> <p>○業務の円滑かつ有効な実施に資するため、岩手労働局、ハローワーク、岩手障害者職業センター、県北広域振興局、久慈市、洋野町、野田村、普代村、等の関係機関との連携を図る。</p> <p>○ 久慈地域障害者自立支</p>	<p>平成29年8月23日(水) 「人によって指示や方法の違う場合の対応の仕方」 在職者…7名参加</p> <p>第3回 平成29年12月7日(木) 「睡眠が仕事に影響!?良質な睡眠で疲労回復」 在職者…5名参加</p> <p>第4回 平成30年2月17日(木) 「来年度の在職者交流会をみんな で計画してみよう!企画会議」 在職者…5名参加</p> <p>平成29年12月12日~15日まで就業支援担当者1名が参加し、障害特性や企業目線での就労支援などの研修を受講した。</p> <p>平成29年11月8日~9日まで主任就業支援担当者1名が参加し、企業やA型事業所の障害者雇用の取り組みなどについて学んだ。</p> <p>岩手県障害者就業・生活支援センター連絡協議会主催の定期研修会に参加し、資質の向上に努めた。</p> <p>就労支援ネットワーク会議を以下のとおり開催し、関係機関との情報交換を行った。 第1回 平成29年5月19日(木) 議 題 ・平成28年度事業報告について ・会員企業開拓予定・結果について・第1回事業所対象研修会について</p>	
--	--	--	--

	<p>援協議会就労分科会と連動しての連絡会議を開催し、関係機関との連携を図る。 (年6回)</p> <p>○ 久慈地域障害者自立支援協議会の各分科会と連携を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回事業所対象研修会について ・第1回職場説明会について ・第2回職場説明会について <p>第2回 平成29年5月19日(木) 議 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回在職者交流会について ・リーフレットについて <p>第3回 平成29年9月7日(木) 議 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回事業所対象研修会について ・第2回職場説明会について <p>第4回 平成29年9月28日(木) 議 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回事業所対象研修会について <p>第5回 平成29年11月24日(木) 議 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回事業所対象研修会について <p>第6回 平成30年1月18日(木) 議 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業計画(案)について <p>第7回 平成30年3月8日(木) 議 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業計画(案)について ・第1回事業所対象研修会について 	
--	--	---	--

2. 障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）実施結果

支援対象者数	118名 (登録解除者14名)	障がい種別ごとの対象者数	身体15名 精神23名	知的65名 その他15名
新規支援者数	28名	障がい種別ごとの対象者数	身体3名 精神3名	知的16名 その他6名
継続支援者数	104名	障がい種別ごとの対象者数	身体13名 精神27名	知的52名 その他12名
相談件数	1,573件	内訳 家庭訪問 65件 職場訪問 276件 その他 1,232件		
相談内容	<p>(1) 主に就労面を中心とする相談 1,385 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離職者や求職者への就労に向けた生活状況の確認や助言等 ・在職者への通勤方法や職場の人間関係への相談支援や助言等 <p>(2) 生活面を中心とする相談 188 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日の生活の相談支援や助言等 ・通院に関する相談支援や助言等 			
基礎訓練実施者数及び実施施設	実施施設	就労継続支援事業B型事業所 みずき園	実施者数	0名
	実施施設	就労継続支援事業B型事業所 松柏園	実施者数	0名
	実施施設	就労継続支援事業A型事業所 あすリード本舗	実施者数	0名
関係機関との連携状況 (主な事例及び連携の内容について記載)	<p>支援対象に合わせ、県内の就業・生活支援センターや久慈地域障害者自立支援協議会就労支援分科会、各相談支援専門員と連携し支援を行っている。</p> <p>(1) 資格取得や通勤等に係る支援を相談支援専門員など関係機関と連携して支援。</p> <p>(2) 新規就職に伴いグループホームでの生活を始めることによる金銭支援等を中心とした生活支援。</p>			

3. 相談支援事業実施報告

(登録者数)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	159	42	0	91	20	4	1	1
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	159	42	0	91	20	4	1	1

(支援方法)

支援方法	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	297	64	30	179	33	52	206	0	861

(支援内容)

支援内容	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	596	11	31	52	0	39	25	28	57
支援内容	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計					
件数	1	58	0	898					

(その他)

	巡回相談出席	関係機関会議出席	研修会等出席	ケア会議(Ⅰ)	ケア会議(Ⅱ)	専門機関への紹介	計
件数	1	26	22	7	45		101

4. 職員研修の状況

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
4月1日	支援スキルアップ研修	所長	全職員	6名	・障害特性について
毎月職員 会議後	復命研修		全職員	7名	・メンタルヘルスや支援力向上につながる研修

(2) 施設外研修

実施日	研修名	主催者	場所	参加職種	研修内容
4月28日	平成29年度 第1回岩手県 障害者・生活支 援センター連 絡協議会総会 及び合同研修 会	岩手県障害 者・生活支 援センター 連絡協議会	盛岡市ふれ あいランド 岩手	所長 主任就業 支援ワー カー 就業支援 ワーカー	講演 『高次脳機能障害の基本的理解と支援について』
5月25日	平成29年度 第1回久慈地 域メンタルヘル ス・サポート ネットワーク 連絡会	岩手県久慈 保健所	久慈地区合 同庁舎	相談支援 専門員	講義 『久慈地域におけるネットワーク活動の役割』
6月8日	平成29年度 岩手県障害者 地域生活支援 事業連絡協議 会定期総会第 1回研修会	岩手県障害 者地域生活 支援事業連 絡協議会	盛岡市ふれ あいランド 岩手	相談支援 専門員	講義 『各地域の相談支援・自立支援協議会の状況を把握してみよう』
6月15日	平成29年度 第2回久慈地 域メンタルヘル ス・サポート ネットワーク 連絡会	岩手県久慈 保健所	久慈地区合 同庁舎	相談支援 専門員	講演 『地域型認知症疾患医療センターの取り組み』
7月19日	支援者スキル アップ研修	花巻市保健 福祉部障が い福祉課	花巻市保健 センター	相談支援 専門員	講演 『サービス等利用計画（相談支援専門員）と個別支援計画（サービス管理責任者）の連携と連動』
8月17日	平成29年度 第4回久慈地 域メンタルヘル ス・サポー	岩手県久慈 保健所	久慈地区合 同庁舎	相談支援 専門員	講演 『被災地のこころのケアの現状とこれから』

	トネットワーク連絡会				
8月24日	平成29年度 宮古圏域地域 生活支援セミ ナー	宮古圏域障 がい者自立 支援協議会 (精神保健 部会)	宮古市陸中 ビル	相談支援 専門員 就業支援 ワーカー 生活支援 ワーカー	講演 『地域生活へ進め ～地域で暮らす価値の再考～』
8月28日	平成29年度 第1回発達障 害者雇用支援 連絡協議会	岩手障害者 職業センタ ー	岩手障害者 職業センタ ー	主任就業 支援ワー カー	講義 『発達障害者の就労支援において、当センタ ーが各福祉圏域で担うべき役割について』
9月21日	平成29年度 第5回久慈地 域メンタルヘル ス・サポート ネットワーク 連絡会	岩手県久慈 保健所	久慈地区合 同庁舎	相談支援 専門員	講演 『ハローワークの就労支援の状況』
9月29日	平成29年度 岩手県障害者 就業・生活支援 センター連絡協 議会 第2 回職員研修会	岩手県障害 者就業・生 活支援セン ター連絡協 議会	盛岡市ふれ あいランド 岩手	主任就業 支援ワー カー 就業支援 ワーカー 生活支援 ワーカー	講演 『精神・発達障害者等へのハローワークの支 援及び、しごとサポーターについて』 『社会福祉法人協働による地域公益活動～ IWATE・あんしんサポート事業について』 『岩手県日常生活自立支援事業の状況と取り 組み課題』 『発達障がいがあり、二次障がいが見られる 方への就労支援』
9月29日	平成29年度 岩手県障害者 地域生活支援 事業連絡協議 会第2回研修 会	岩手県障害 者地域生活 支援事業連 絡協議会	盛岡市都南 文化会館	相談支援 専門員	講演 『触法・定着支援と地域生活支援の連携を考 える』
10月19日	平成29年度 第6回久慈地 域メンタルヘル ス・サポート ネットワーク 連絡	岩手県久慈 保健所	久慈地区合 同庁舎	相談支援 専門員	講演 『自傷行為への対応と支援』 講話及びグループワーク 『ハローワークの就労支援の状況』
10月20日	平成29年度 第1回「発達障 がい者支援者 セミナー」	久慈地域障 害者自立支 援協議会	久慈市総合 福祉センタ ー	相談支援 専門員 就業支援 ワーカー	講義 『発達障がい者の理解』

11月8日	平成29年度 障害者就業・生活支援センター北海道・東北ブロック経験交流会議	北海道労働局	札幌市ホテルポールスター札幌	主任就業支援ワーカー	講演 『障害者の継続就労及び労働生産性の向上を支援する取組み等について』 『A事業所における障害者就労支援について』
11月9日	第16回東北・北海道ブロック障害者就業・生活支援センター連絡会北海道大会	第16回東北・北海道ブロック障害者就業・生活支援センター連絡会北海道大会大会実行委員会	札幌市TKP札幌駅カルフアレンスセンター	主任就業支援ワーカー	講演 『理想の地域づくりを協働してみよう』
11月23日	障がい理解講演会	久慈市・久慈地域障害者自立支援協議会	久慈市総合福祉センター	相談支援専門員	講演 『障がい者の経済学～経済学から障がいを考えよう～』
12月4日	平成29年度第2回発達障がい支援者セミナー	久慈地域障害者自立支援協議会	久慈市総合福祉センター	相談支援専門員 就業支援ワーカー 生活支援ワーカー	講義 『知的障がいを伴う自閉症スペクトラム症者への対応』
12月5日	平成29年度障害者就業・生活支援センター連絡協議会第3回職員研修会	岩手県障害者就業・生活支援センター連絡協議会	盛岡市ふれあいランド岩手	主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー 生活支援ワーカー	講演 『二戸圏域・センターの取組みについて』 『問題解決技能トレーニング～相談場面やジョブコーチ支援にも活用できる支援方法～』
12月8日	平成29年度岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会県北ブロック研修会	岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会県北ブロック協議会	二戸地区合同庁舎	相談支援専門員 就業支援ワーカー 生活支援ワーカー	講演 『権利擁護と意思決定支援について～福島県人権・倫理委員会の実践から～』
12月9日	平成29年度発達障がい研修会	久慈市	久慈地区合同庁舎	相談支援専門員	講演 『発達障がいと合理的配慮』

12月12日 ～12月15日	平成29年度 第3回障害者 就業・生活支援 センター主任 就業支援担 当者及び就業支 援担当者研修	障害者職業 総合センタ ー	障害者職業 総合センタ ー	就業支援 ワーカー	講義 『障害特性と職業的課題Ⅰ～知的障害・発達 障害～』 『障害特性と職業的課題Ⅱ～精神障害～』 『障害特性と職業的課題Ⅲ～身体障害・難病・ 高次脳機能障害～』 等
12月21日	平成29年度 第8回久慈地 域メンタルヘ ルス・サポート ネットワーク 連絡会	岩手県久慈 保健所	久慈地区合 同庁舎	相談支援 専門員	講演 『児童・生徒のメンタルヘルス』
12月22日	平成29年度 第3回発達障 がい支援者セ ミナー	久慈地域障 害者自立支 援協議会	久慈市総合 福祉センタ ー	相談支援 専門員 就業支援 ワーカー 生活支援 ワーカー	講義 『知的障がいを伴わない自閉症スペクトラム 症者への対応』
1月25日	平成29年度 いきる支援セ ミナー	岩手県久慈 保健所	久慈市アン バーホール	相談支援 専門員	講演 『地域の自殺対策と災害支援について～最近 の動向を踏まえて～』
2月1日	平成29年度 岩手県障害 者地域生活支 援事業連絡協 議会第3回研 修会	岩手県障害 者地域生活 支援事業連 絡協議会	都南公民館	相談支援 専門員	講義 『発達障害・学齢期の医療と教育の間で支援 を考える』
2月2日	平成29年度 第2回岩手県 障害者就業・生 活支援セン ター連絡協 議会及び岩手 県就労移行支 援事業所連 絡会との合同 研修会	岩手県障害 者就業・生 活支援セン ター連絡協 議会	ホテル東日 本盛岡	所長 主任就業 支援ワー カー 生活支援 ワーカー	講演 『触法障害者に対する保護観察所の対応につ いて』
2月22日	平成29年度 第10回久慈 地域メンタル ヘルス・サポ ートネットワ ーク連絡会	岩手県久慈 保健所	久慈地区合 同庁舎	相談支援 専門員	講演 『取り組みを振り返り今後の自殺対策につ いて考えよう』

3月5日	平成29年度 岩手県障害者 地域生活支援 事業連絡協議 会第4回研修 会	岩手県障害 者地域生活 支援事業連 絡協議会	盛岡市ふれ あいランド 岩手	相談支援 専門員	講演 『福祉専門職等の人材育成について』
------	---	---------------------------------	----------------------	-------------	-------------------------